

国東市長 三河 明史 様

国東市議会議長 大谷 和義

新型コロナウイルス感染症対策における議会費の活用に関する申し入れ

新型コロナウイルス感染症については、一旦は、感染者が減少傾向に転じたものの、首都圏を中心に再び感染拡大の様相を呈しており、依然終息は見通せない状況である。

市においては、医療現場や学校現場、介護・福祉施設等における物資不足の不安を払拭するため、在庫のマスク等を早期に配布するなどの感染症対策物資の提供に取り組んだほか、全市民への箱入りマスクの配布など極めて迅速な対応により、市民の不安及び物資不足の解消に鋭意取り組まれたことは承知しているところである。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により被害を受けた中小事業者等への定額給付金の支給など、市独自の対策も継続して進められている。

国は地方自治体への臨時交付金を予定しているが、市民・事業者の不安解消や市独自のさらなる支援策等の拡充に必要な財源を確保するため、市議会としても、今年度の委員会の視察研修の中止及び議会費の減額措置（3 常任委員会分 2,100,000 円、議会運営委員会分 480,000 円、広報特別委員会分 420,000 円 合計 3,000,000 円）を実施することを会派代表者会議で決定し、全議員で申し合せた。

については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民を支援する施策のため、当該減額分が新型コロナウイルス感染症対策の財源の一部として活用されるように申し入れる。

なお、減額分については、特段の指定をするものではなく、市において有効的な活用が図られるよう申し添える。